

麻布幼稚園だより 11月号

平成27年10月30日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「麻布幼稚園80周年の思い」

園長 大島 美知代

いよいよ周年式典が近付いてまいりました。今月19日には、幼稚園としての「幼稚園80歳の誕生日会＝お祝いの会」を開き、翌々日の21日には港区から、地域から、旧教職員からたくさんのお客様を迎え、「港区立麻布小学校 開校140周年・港区立麻布幼稚園 開園80周年」記念式典を行います。

この80周年を迎えるにあたって、麻布幼稚園の歴史を調べてみました。

昭和9年東京市麻布麻中幼稚園として設置認可を受け、開園しました。昭和9年5月には開園記念式典が行われています。昭和9年度の修了児78名でした。この時、学級数は4学級です。

昭和10年には東京市麻布幼稚園と改名しました。修了児台帳を調べると、昭和18年度も4学級、修了児は91人でした。しかし、昭和19年度、20年度の修了児の記録はありません。第2次世界大戦のため、麻布幼稚園は休園となったからです。

そして昭和21年5月8日に本園は再開園します。この年は1年保育であり、修了児は35名2学級しかなかったようです。

昭和22年4月1日には「東京都港区立麻布幼稚園」と改名し、本格的な幼稚園の教育が始まったものと思われます。昭和29年には20周年記念式、昭和39年には園舎改装、昭和40年には30周年記念式、昭和49年には40周年記念式、そして昭和50年には園歌発表会となります。

先月園歌の話を書きました。今年度PTA会長の山田さんは本園の修了生です。山田さんに伺ったところ、園歌の作詞者も分かりました。

修了児台帳の昭和33年度の記録を見ると、その年度の学級数は3学級、学級名は「桜」「桃」「梅」となっており、修了児は91名（そのうち40名は2年保育、あとは1年保育）となっています。昭和42年度の修了児台帳に初めて「菊」組の文字が出てきました。現在の学級名の根拠はここにあると思われる。本園の学級名は昔から日本の「花」の名前だったのです。

今年度、本園では周年の気持ちをつないでいくように教育活動を考えています。先日行った「おめでとう おやこ うんどうかい」にはたくさんのご来賓がいらしてくださいました。港区教育委員会の皆様をはじめ、元園長先生 鈴木義治先生、前園長先生 菅野宏隆先生、そして同窓生の小林徹様がいらっしやいました。開園80周年の年、多くの先生方や地域の方が現在の幼稚園の教育活動の様子に関心を持ち、園児たちを見守ってくださっているのを感じました。これから今月には、親子でお祝いの気持ちを製作物に表す「親子製作」や幼稚園の誕生会「お祝いの会」の準備や出し物の練習、そして年長組が代表として参加する「合同式典、アトラクション」と続きます。そして合同式典後は「おめでとう」の気持ちを造形表現で表す「作品展」と園児たちの活動は継続されます。

開園80周年の年度に集った園児たちは今までの伝統ある「麻布幼稚園」の歴史を継承し、今後につなげていく使者となります。「げんきなこ」「やさしいこ」「かながえるこ」の教育目標を掲げ、園児たちが開園90周年に向けてよいスタートが切れるようにしたいと思います。保護者の皆様と共に教職員も記念の年を、心を込めて歩んでいきたいと思ひます。